

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



桜が散ったらもう5月。どんどん時間が経っていきますね。時間が経つのはゴールが近づくこととポジティブにとらえつつ、J-DAVIDは「粛々と」進めております。この度のネパールの大地震で死亡された多数の方々におくやみ申し上げ、負傷された方々の一日も早い御回復をお祈りいたします。

さ～て今月は、甲南病院血液浄化・腎センターの藤森 明先生からメッセージをいただいております。

世話人・幹事からのメッセージ

「私と活性型ビタミンDとの関わり」

甲南病院 血液浄化・腎センター
藤森 明 先生

私は昭和59年に神戸大学を卒業して、骨・ミネラル代謝の研究に興味を持ち、第三内科に入局させていただきました。実は私も内分泌・代謝疾患講座の教室員として、臨床医の第一歩を踏み出したのです。恩師の藤田拓男教授には、骨粗鬆症の基礎と臨床を教えていただきました。その頃はちょうど骨粗鬆症治療薬としての活性型ビタミンD (VD) が使われはじめ、VD研究が盛んになってきた時でした。それまではカルシウム製剤やエストロゲンの補充ぐらいしか治療法がなかったので、VDに対する期待は非常に大きかったわけです。藤田教授は、骨代謝だけでなく糖尿病や高血圧症などに対するVDの効果にも興味をもっておられました。私たちが「まさかそこまで」と考えていた多面的作用が現在明らかにされつつあるわけです。

その後平成4年から、現在の甲南病院でお世話になるようになりました。主に腎臓・透析の領域で仕事をさせてもらうようになりましたが、現在でも骨粗鬆症の

診療は続けさせていただいています。ビスフォスフォネート、抗RANKL抗体、PTH、SERMなど30年前にはなかった強力な治療薬が使われるようになっていますが、エルデカルシトールという新しい誘導體も開発され、VDは今でも骨粗鬆症治療に無くてはならない薬剤として活躍しています。骨密度に対する作用以外に筋力維持や転倒予防の効果もあることから、特に高齢の骨粗鬆症患者さんには重要な治療薬と考えています。



透析患者さんにとってVDは諸刃の剣のようなものであると思っています。適正に使用すると本当に予後改善の効果があるのかどうか、J-DAVID試験の結果が楽しみです。私は常々Made in Japanにこだわっているのですが、医学的なエビデンスも日本からどんどん世界に発信していかないといけないと考えています。J-DAVID試験の様な素晴らしい研究を企画し遂行されている庄司先生のお力には心から感服いたします。



最近の文献から

ビタミンDとω3脂肪酸によるセロトニン合成と作用コントロールPart 2: ADHA、双極性障害、統合失調症、衝動的行為における重要性

Vitamin D and the omega-3 fatty acids control serotonin synthesis and action, part 2: relevance for ADHD, bipolar, schizophrenia, and impulsive behavior.

Patrick RP, Ames BN, FASEB J. 2015 Feb 24. pii: fj.14-268342. [Epub ahead of print]

【ポイント】過去の報告に基づき、種々の脳機能に關与するセロトニンの合成、放出、機能に対し、それぞれビタミンD, EPA, DHAが關与するという仮説が提示され、種々の神経精神疾患の病態形成への關与が考察されている。

【詳しくは】<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25713056>

最新進捗状況

進捗状況を報告いたします。(4月28日現在)

症例報告書回収状況報告

	観察開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目
前月	976	936	924	879	842	802	724	687	633	427
今月 (前月比)	976	936 (-)	924 (-)	879 (-)	842 (-)	802 (-)	724 (-)	687 (-)	643 (+10)	481 (+54)

内容確認書（クエリー）回収状況報告

	開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目	コンプライアンス	中止時	脱落基準	SAE (イベント含む)	総数
発行	1136	783	622	638	616	560	552	450	367	253	1388	193	28	252	7838
回収	1136	777	616	627	591	524	509	403	303	174	1328	178	27	231	7424
回収率 (%)	100.0	99.2	99.0	98.3	95.9	93.6	92.2	89.6	82.6	68.8	95.7	92.2	96.4	91.7	94.7

J-DAVID事務局からのお知らせ



サンプリングSDVにご協力ありがとうございました

サンプリングSDVを無事実施することができました。対象のご施設にはご協力いただき誠にありがとうございました。

J-DAVIDデータセンターからのお知らせ



48ヶ月観察までの症例報告書をご提出ください【重要】

全登録症例の48ヶ月までの観察目安日が経過しました。今後はデータ固定を進めてまいります。ご施設様には来院後1ヶ月以内を目途に症例報告書のご提出をお願いいたします。

従来より、未提出の症例報告書につきまして、クエリを発行してデータの確認をお願いしております。今後固定作業を進めていくにあたり頻りに症例報告書提出のお知らせや内容問い合わせ提出のお願いをすることがあるかと思いますが、ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

レターパックの返送について

ご提出された症例報告書は、データセンターでの処理後、お問い合わせなどが発生することが考えられますのでお手元に残っているレターパックはデータ固定までの間、保管ください。ご不明な点があればデータセンターまでお問い合わせください。

編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪府阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分泌病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
J-DAVID試験データセンター
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

J-DAVIDのホームページ
<http://j-david.info/>